

第5期物部川地域アクションプランの 進捗状況確認資料

物 部 川 地 域 本 部
令和7年1月31日（金）

物部川地域アクションプランの進捗状況確認資料

R7.1.31

物部川地域本部

1 地域アクションプランの令和6年度第3四半期の実施状況及び令和7年度の展開(総括)

(1) 総評

令和6年度は、全19項目のアクションプランごとに関係機関の担当者等で構成する実行支援チームを編成し、市や事業者と事業推進に向けた協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めている。

第3四半期までの取り組みにより、各アクションプランの目標数値や前年同期比を上回る成果となっているものは、全体の半数となっている。

令和7年度は、若者の雇用や所得向上につながるアクションプランと、大きな展開が見込める広域観光のアクションプランを重点項目として位置づけ、取り組みを強化していく。

農業分野

日本一の生産量を誇るニラやシシトウ等の産地拡大に向けて、多様な担い手確保・育成、既存農家の経営安定に向けた個別指導や講習会等も実施し、生産拡大等に取り組んでいる。

令和7年度についても同様の取り組みを継続していくとともに、特に若者の雇用や所得向上の観点から、農業法人の雇用就労者の増加に向けて、早期の生産安定に向けた支援を行っていく。

商工業分野

商工業分野のうち、地域産品を活用したクラフトビールの製造・販売は、販売拡大の取り組みにより、売上高は順調に増加している。令和7年度には、さらなる生産拡大に向けた機械設備等の導入を予定しているため、産振補助金による支援と新たな雇用創出に向けた支援を行っていく。

一方で、中心市街地の活性化や地域産品の販売等のアクションプランでは、実績が目標数値を下回る状況にあるため、令和7年度も引き続き実施主体や市、商工会と協議を行いながら改善に取り組んでいく。

観光分野

「あんぱん」の放送を控え、物部川の広域エリアや3市それぞれで観光客の誘致・受入準備を進めている。

令和7年度は、地域博覧会を通じて、観光客の誘客・受入増を目指すことはもとより、物部川 DMO 協議会や3市の観光協会がアクションプランで従来から掲げている、旅行商品・メニューづくりや地域のプロモーション活動、関係団体との連携等といった、観光の取り組みレベルを一段引き上げられるよう、支援を進めていく。

また、こうした観光分野の取り組みが、一次産業の振興や地域産品の製造、販売の拡大、中心市街地の活性化等に波及していくよう、関係団体と連携して取り組んでいく。

[重点] APNo.2 南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進

＜物部川地域本部＞

分野	農業
実施主体	◎JA高知県(土長地区)、◎JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、◎南国市、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)はぐみ農園
APへの位置付け	H21.4月

事業概要

南国市産の主要農作物(シトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜(還元野菜)の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善などに取り組み、生産・流通・販売の課題を解決し、地産地消・地産外商を推進することで、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。

現状と課題

【現状】

南国市では、複数の企業が農業参入し、大規模施設での営農を開始している。R6年度は企業の規模拡大や新規参入が実現し、今後も新たな雇用創出が期待できる。

1 シトウの生産拡大(R6)

- ・Aitosa(株)の規模拡大及び営農支援
→Aitosa(株)の規模拡大が実現：37a(2号棟)
→雇用創出数(R6.9月時点)：11人

2 ピーマン類の生産拡大(R6)

- ・(株)イチネン農園が10aあたり目標収量を達成
- ・(株)はぐみ農園のハウス整備を開始：1.2ha

【課題】

- ・Aitosa(株)や既存農家の規模拡大後の生産安定
- ・(株)イチネン農園の収量増加(冬期の収量確保対策、病害虫対策、整枝や収穫等作業性の改善)
- ・(株)はぐみ農園のハウス整備後の生産安定

指標	出発点(R5)	第5期(R6~R9)				評価※(達成率)
		R6実績(9月~8月)	R6目標	R7目標	R9目標	
(1)シトウ生産量(9月~8月)	492t	439.5t	490t	490t	548t	B (89.7%)
(2)ニラ生産量(9月~8月)	793t	762.4t	850t	850t	880t	B (89.7%)
(3)ピーマン類生産量(9月~8月)	1,039t	1,059.2t	1,050t	1,120t	1,220t	A (100.9%)
(4)「還元野菜」の売上高	917万円(R4)	830万円(R6.4~11)	1,000万円	1,000万円	1,100万円	S (124.5%)
(5)学校給食における地元野菜の供給割合	28.38%(R4)	24.33%(R6.4~11)	27.00%	27.00%	27.0%	B (90.1%)

※R6(目標)に対するR6(実績)の達成状況 S:110%以上 A:100%以上110%未満 B:85%以上100%未満 C:70%以上85%未満 D:70%未満

主なスケジュール	R6	R7	R8	R9
シトウの生産拡大	Aitosa(株)のハウス整備に対する支援	生産拡大、担い手育成等		
ピーマン類の生産拡大	(株)はぐみ農園のハウス整備に対する支援	生産拡大、担い手育成等		

R7年度(第5期ver.2)における取り組みの内容

(1) シトウの生産拡大

- ・参入企業及び既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続

(2) ニラの生産拡大

- ・既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続

(3) ピーマン類の生産拡大

- ・参入企業及び既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続

(4) 「還元野菜」の販売拡大

- ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大

(5) 「南国野菜」の地産地消の推進

- ・農家レストラン「まほろば畑」及び学校給食は現在の活動を継続
- ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアー受入に向けた検討

分野	商工業
実施主体	◎(同)高知カンパニーブルワリー、香美市商工会、香美市
APへの位置付け	H30.9月

第5期(R6~R9)						評価※ (達成率)
指標	出発点 (R4)	R6実績 (4月~10月)	R6目標	R7目標	R9目標	
クラフトビールの売上高	4,207万円	6,412万円	7,500万円	8,000万円	9,000万円	S (146.6%)

※R6(目標)に対するR6(実績)の達成状況 **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

事業概要

高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社TAP STANDへの誘客促進を図る。
更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。

主なスケジュール	R6	R7	R8	R9
生産体制の強化	雇用の創出・人材育成	機械設備の導入・第2工場の整備		
認知度向上・販路拡大	イベント・商談会への出展、自社イベントの実施、新商品の開発・販売等			

現状と課題

【現状】

- ・R5年4月にTAP STANDを併設した新工場オープンによる生産能力の拡大(8倍)
 - ・積極的なイベント、商談会への出展等による販路拡大
 - ・継続的な新商品(期間・地域限定等)の開発による商品ラインナップの充実
 - ・各種媒体でのPRによる認知度の向上
- ⇒ 売上高は目標を大きく上回り順調に増加
⇒ 雇用者数21名(R6.12月時点)

【課題】

- ・更なる生産量の拡大や商品ラインナップの充実に向けた生産設備の増強
- ・売上増に向けた県外飲食店等への販路拡大
- ・地域のにぎわい創出に向けたTAP STAND及びTOSACO GARDENへの誘客

R7年度(第5期ver.2)における取り組みの内容

(1)生産体制の強化

- 新** ①機械設備の導入
生産能力強化に向けた、自動充填設備の導入、タンクおよび保冷庫の増設
- 新** ②第2工場の整備
・①の設置スペース確保に向けた第2工場を新たに整備(市内中古物件の活用を予定)
・現工場の一部設備の移設
⇒ ①②について令和7年度産振補助金を活用予定
- ③ハローワーク等を活用した労働力の確保・育成

(2)認知度向上・販路拡大

- ・商品コンセプトに合致したイベント、商談会等への積極的な出展
- ・地元イベントへの出店
- ・自社イベントの実施
- ・新商品(期間・地域限定等)の開発
- ・SNS等を活用したTAP STAND及びTOSACO GARDENの情報発信



[重点] APNo.11 物部川地域における広域観光の推進

<物部川地域本部>

分野	観光
実施主体	◎(一社)物部川DMO協議会、南国市、香南市、香美市、 (一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、 (一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者
APへの位置付け	H24.4月

第5期(R6~R9)						評価※1 (達成率)
指標	出発点 (R4)	R6実績	R6目標	R7目標	R9目標	
主要観光施設入込数(8施設)※2 (1月~12月)	73.7万人	78.9万人	80.7万人	83.5万人	89.5万人	B (97.8%)

※1 R6(目標)に対するR6(実績)の達成状況 **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満
 ※2 西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター(海洋堂スペースファクトリーなんこく)、県立のいち動物公園、絵金蔵、龍河洞創造広場「アクトランド」、アンバンマンミュージアム

事業概要

物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。

主なスケジュール	R6	R7	R8	R9
観光商品の充実・観光客の広域誘致	・県キャンペーンと連動した観光商品の造成・販売 ・連続テレビ小説「あんばん」を生かしたセールスの実施やエリア内の情報発信 ・デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定			
地域連携による周遊促進	観光博覧会の準備	観光博覧会の開催	連続テレビ小説「あんばん」放送後の誘客・周遊施策等の継続	

現状と課題

【現状】

- ・主要観光施設入込数は、対前年(1-12月)比102.2%で、目標達成に向けて順調に推移
- ・連続テレビ小説「あんばん」の放送を契機に開催する物部川エリアでの観光博覧会に向けて、官民一体の実行委員会を立ち上げ、事業計画を策定し、事務局、3市を中心に事業内容を検討・実行
- ・博覧会ロゴ、ポスター、パンフレット等の広報ツールを制作し、県内外のイベント等で観光博覧会をPR
- ・「ものべおしごと体験博」の実施等、子育てファミリー層向けの観光施策を中心に、ユニバーサルツーリズムを推進(R6年度四国運輸局優良事業者表彰受賞)

【課題】

- ・観光博覧会に向けた受入れ・広報事業の準備の加速化
- ・エリア内の機運醸成の取り組み強化
- ・エリア内関係者との連携強化
- ・観光博覧会を通じた「物部川ブランド」の確立

R7年度(第5期ver.2)における取り組みの内容

(1)広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化

- ①エリア内関係者と一体となった博覧会事業の実施
- ②物部川広域観光振興中期計画(R7~9)の実行

(2)観光商品の充実・観光客の広域誘致

- ①県キャンペーンと連動した旅行商品の造成、販売
- ②「物部川ブランド」の浸透を図るプロモーション活動
- ③「ユニバーサル観光地」としての認知度を向上させ、エリアへの誘客を推進
- ④3市の観光と歴史文化を伝える教育旅行のセールス強化
- ⑤地域観光人材の育成
- ⑥デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定

拡 (3)地域連携による周遊促進

- ①連続テレビ小説「あんばん」を生かした観光博覧会「ものべすと」の開催

◆観光博覧会の目指す姿◆

「やなせさんゆかりの地」という共通テーマのもと、物部川エリアの観光関連事業者が一体となって観光資源の磨き上げを行い、ドラマや博覧会の終了後も観光振興に最大限に活用できる地域づくりに取り組む

◆博覧会の事業内容◆

- (ア)受入環境整備
特別感のあるイベント等の開催、周遊企画の実施、空港発着の周遊バスの運行(GWや夏休み等の繁忙期)等
- (イ)誘致・広報
誘客に向けた商談会等でのセールス活動、県内外での催事出展による博覧会のPR、博覧会公式ガイドブックやSNSによる情報発信 等
- (ウ)住民参加によるおもてなしや地域活性化
博覧会と一緒に取り組む「ものべすとサポーター」の募集・活動、学校・企業等との協働 等

- ②「ものべおしごと体験博」等、企業等と連携した企画の実施



(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況		R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	
農業	1	日本一のニラ産地拡大による地域農業の活性化 (香南市・香美市) 【実施主体】 ・◎JA高知県(香美地区) ・◎JA高知県(香美地区ニラ部会) ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・香南市 ・香美市 ・シミズ・アグリプラス(株) 日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化をはじめとした流通体制の効率化やニラを材料としたご当地グルメ等による消費拡大につなげる等産地強化への取り組みを進める。	ニラ販売額 (JA入金額) 園芸年度： 8～7月	27.4億円 (R5)	30.1億円	34.4億円	1 生産上の対策 (1) 既存農家の経営安定 ・収量向上に向けた個別指導や栽培講習会開催 (2) 規模拡大農家への支援 ・経営分析及び計画策定支援 ・中古ハウス・空きハウス情報の収集・提供 (3) 新規就農者等の支援 ・担い手の確保・育成 ・育成体制の整備 ・グリーンカレッジ活動支援 (4) そぐりセンターの安定稼働 ・受込品質の向上と利用拡大支援 2 流通・販売上の対策 ・集出荷場の効率的な稼働・運営支援 3 消費拡大、認知度向上の対策 ・県・内外での消費拡大に向けた取り組み支援	1 生産上の対策 (1) 既存農家の経営安定(12月末) →収量向上に向けた個別指導：4戸、延べ28回 →栽培講習会での管理指導：1回、6戸 (2) 規模拡大農家への支援(12月末) →規模拡大の実践支援：5戸 →新設・中古ハウスの情報提供：延べ12回 (3) 新規就農者等の支援(12月末) →研修生、親元就農への就農支援：4戸、延べ13回 →新規就農者への個別巡回指導：5戸、延べ28回 →指導農業士の確保：1戸 (4) そぐりセンターの安定稼働(12月末) →そぐりセンター定例会での情報共有：8回 2 流通・販売上の対策(12月末) ・JA土佐山田集出荷場での農福連携の推進 →雇用に関する打合せ：5回 →就労希望者に対する見学会：1回 →作業体験会の開催：1回(参加者28名) 3 消費拡大、認知度向上の対策(12月末) ・テレビ番組を活用した消費宣伝 →ニラの栽培や出荷・販売、料理方法等の紹介：1回 ・イベントでのニラメニューの提供(香南市) →イベント件数：17件、イベント延べ日数：29日	31.5億円 (R5.8月～R6.7月) ・R6到達目標達成率：104.7% ・対前年比：104.7%	A (成果) ・生産面ではJA出荷者増による販売数量の増加や10a当り収量の増加等、販売面では比較的高単価で取引されたこと等により目標販売額を達成した。 ・データ活用での効率的な営農を支援するため、データ利用に取り組み生産者の拡大を図り、品質改善や収量向上につなげることができた。 出荷データ提供同意者数：148戸/182戸(R6.11月時点) ・夏期の高湿・少雨等による収量減や品質低下により、そぐりセンターの受込可能量は減少したが、栽培講習会等での新規利用者開拓等によりそぐりセンター利用者数は増加した。 そぐりセンター受託量：45,111kg(R6.8～10月) (対前年同期比：71%) そぐりセンター利用者数：53戸(R6.9月時点) (対前年同期比：118%) ・テレビ番組でのニラの生産や出荷・販売、料理方法等の紹介や、イベントでのニラメニューの提供によりニラの認知度向上につなげられた。 (課題) ・地域平均収量を下回る生産者への重点的な指導による技術レベル向上により、農家経営を安定させるための支援を継続することが必要 ・流通・販売の効率化には、ニラの品質向上によりそぐりセンターの稼働率を高め、受込量を安定させることが必要 (今後の方向性) ・生産者の反収増加による所得の安定 ・生産規模拡大及び新規就農者の確保による産地の維持・発展 ・JA出荷への誘導による流通の安定化 ・ニラ品質向上によるそぐりセンターの稼働率向上及び受込可能量の増加	1 生産上の対策 (1) 既存農家の経営安定 ・収量向上に向けた個別指導 (2) 規模拡大農家への支援 ・規模拡大農家への経営指導 ・新設・中古ハウスの情報提供 (3) 新規就農者等の支援 ・新規就農者への経営改善指導 (4) そぐりセンターの安定稼働 ・そぐりセンターの安定稼働支援 ・受込ニラ品質の向上 2 流通・販売上の対策 ・新出荷場の効率的な稼働・運営支援 3 消費拡大、認知度向上の対策 ・県・内外での消費拡大に向けた取り組み支援

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
農業	2	南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進 (南国市) 【実施主体】 ・◎JA高知県(土長地区) ・◎JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル ・◎南国市 ・Aitosa(株) ・(株)イチネン農園 ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・(株)はぐみ農園 南国市産の主要農作物(シシトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜(還元野菜)の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決等に取り組み、生産・流通・販売の課題を解決し、地産地消・地産外商を推進することで、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。	シシトウ生産量 園芸年度：9月～8月	492t (R5)	490t	548t	1 シシトウの生産拡大 ・Aitosa(株)の規模拡大及び営農支援 ・担い手の確保・育成 ・規模拡大農家への支援	1 シシトウの生産拡大 ・Aitosa(株)の規模拡大及び営農支援 →新たに2号棟ハウスを整備(R6.6) →個別巡回による技術指導：22回(R6.4～12) ・担い手への支援 →重点支援対象者7戸に対する経営及び技術指導：16回(R6.4～12) →就業希望者との面談：1回(R6.10) ・規模拡大農家の支援(1戸) →ハウス整備地に関する課題対応：4回(R6.4～6) →個別巡回による技術指導：5回(R6.7～12)	439.5t (R5.9月～8月) ・R6到達目標達成率：89.7% ・対前年比：89.3%	B	(成果) ・Aitosa(株)の規模拡大が実現した(シシトウ)：37a(2号棟) ・Aitosa(株)の規模拡大により新たな雇用が生まれた。 雇用創出数：11人 ・Aitosa(株)の10aあたり目標収量を達成した。 12.7t(R6園芸年度目標12t、前年比100%) ・既存農家の規模拡大が実現した(シシトウ)：27a(1戸) ・新規就農を目指す研修生を確保した(シシトウ)：1人 ・(株)イチネン農園の10aあたり目標収量を達成した。 22.1t(R6園芸年度目標21.5t、前年比135%) ・(株)はぐみ農園のハウス整備(1.2ha)を開始した。 ・農家レストラン「まほろば畑」を毎月開催し来客者等に地元野菜のPRができた。 来客数：計1,728人(12月末) ・学校給食に供給することで、地元野菜の地産地消を推進できた。	1 シシトウの生産拡大 ・出荷量増加に向けた参入企業及び既存農家の営農支援 ・研修生の技術習得に向けた支援
			ニラ生産量 園芸年度：9月～8月	793t (R5)	850t	880t	2 ニラの生産拡大 ・既存農家の増収及び品質向上 ・担い手の確保・育成	2 ニラの生産拡大 ・既存農家の増収及び品質向上 →個別巡回による技術指導：13回(R6.4～12) ・担い手への支援 →親元での研修生1名に対する実地研修の実施：4回(R6.5～9、基本的栽培管理、簿記ソフト講習等)	762.4t (R5.9月～8月) ・R6到達目標達成率：89.7% ・対前年比：96.1%		B	(課題) ・Aitosa(株)や既存農家の規模拡大後の生産安定 ・(株)イチネン農園の収量増加(冬期の収量確保対策、病害虫対策、整枝や収穫等作業性の改善) ・シシトウ、ニラは重油や資材等のコスト増による品目転換や高齢者の離農による生産戸数・面積の減少により到達目標未達成。
			ピーマン類生産量 園芸年度：9月～8月	1,039t (R5)	1,050t	1,220t	3 ピーマン類の生産拡大 ・(株)イチネン農園への営農支援 ・(株)はぐみ農園の参入支援 ・(株)南国スタイルへの営農支援	3 ピーマン類の生産拡大 ・(株)イチネン農園への営農支援 →個別巡回による技術指導：28回(R6.4～12) →R7園芸年度の栽培計画作成支援：2回(R6.4～6) ・(株)はぐみ農園の参入支援 →農業用水の水質検査の実施と情報提供：1回(R6.6) →ハウス整備地に関する課題対応：2回(R6.4～9) ・(株)南国スタイルへの営農支援 →生育調査等による技術指導：33回(R6.4～12) →出荷量、販売実績等に関する打合せ：8回(R6.4～12)	1,059.2t (R5.9月～8月) ・R6到達目標達成率：100.9% ・対前年比：101.6%	A		・(株)はぐみ農園のハウス整備後の生産安定 ・電解水素水(還元水)効能のエビデンスがないため、トリムユーザー以外への広がりに苦心 ・農家レストラン「まほろば畑」の後継者の確保
			「還元野菜」の売上高	917万円 (R4)	1,000万円	1,100万円	4 「還元野菜」の販売拡大 ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大	4 「還元野菜」の販売拡大 ・ショッピングサイトでの還元野菜のインターネット販売(通年) ・販路拡大に向けた売り込み(通年)	830万円 (R6.4月～11月) ・R6到達目標達成率：124.5% ・対前年同期比：132.7%		S	
			学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)	28.38% (R4)	27.00%	27.00%	5 「南国野菜」の地産地消の推進 ・市内小学校の給食用食材として南国野菜を利用 ・南国野菜を活用した商品の開発・製造・販売 ・農家レストラン「まほろば畑」等での料理提供や南国野菜のPR ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアーの実施	5 「南国野菜」の地産地消の推進 ・市内小学校・幼稚園の給食用食材として地元野菜の利用を継続 →給食における地元野菜の供給金額(11月末)：433万円 ・南国市内事業者への地元野菜配送：19事業所 ・道の駅南国風良里で農家レストラン「まほろば畑」の開催(計9回) ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアー受入れに向けた検討(4回)	24.33% (R6.4月～11月) ・R6到達目標達成率：90.1% ・対前年同期比：—%	B		(今後の方向性) ・参入企業及び既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続(シシトウ、ニラ、ピーマン類) ・還元野菜の現在の販売ルートの維持及び新規ルートの開拓 ・農家レストラン「まほろば畑」及び学校給食は現在の活動を継続

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況				
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		R7計画
農業	3	<p>「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・◎(株)なの工房 ・◎畑の食堂Copan ・JA高知県(土長地区長岡支所) <p>旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」、平成30年にオープンした「畑の食堂Copan」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。</p>	直販所等の売上高	9,707万円(R4)	1億200万円	1億1,100万円	<p>1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務分析による経費削減(日別の目標売上額を設定し、継続的な管理を実施) ・魅力ある店舗づくり ・新規顧客獲得の取り組み、客単価を上げる取り組み <p>2 来客増に向けた取り組み 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者会議での呼びかけ、店舗へのチラシの掲示、生産者への売上データの送付、呼びかけ <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発(新規及びリピート客の確保) ・SNSを活用した情報発信 ・市内外のイベントへの積極的な出店 ・キッチンレーラーを活用した新規顧客の獲得 	<p>1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査役による財務分析、目標設定および継続的な管理を実施 ・店内レイアウトの見直し(随時) ・顧客の取り込みと客単価向上のためポイント(スタンプ)カードを導入(R6.6～) <p>2 来客増に向けた取り組み 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者会議での呼びかけ(通年) ・店内での地域イベントチラシの掲示、生産者への売上データの送付 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発(テイクアウト10点、R6.9時点) ・SNSを活用した情報発信 ・市内外のイベントへの積極的な出店 ・キッチンレーラーを活用したイベント出展等による新規顧客の獲得 	7,014万円(R6.4月～11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・R6到達目標達成率：103.1% ・対前年同期比：101.3% 	A	<p>(成果) 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株主の一人である監査員の積極的な関与により、スタンプカードの導入や、店内レイアウトの見直しを積極的に行い魅力ある店舗づくりにつながった。 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンレーラーを活用し、イベント等での積極的なPRを行い新規顧客の獲得につながった。 <p>(課題) 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務の健全化 ・生産者の高齢化、高知市内の直売所への出荷が増えたことによる入荷減 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客数の伸び悩み <p>(今後の方向性) 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務健全化に向け産振アドバイザー制度等を活用 ・生産者会の実施等、生産者に対し、より多く出荷するよう働きかけを継続 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンレーラーを活用し、イベント等での積極的なPRを行う等、来客増に向けた取り組みの継続 	<p>1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務分析による経費削減(日別の目標売上額を設定し、継続的な管理を実施) ・さらなる魅力ある店舗づくり ・新規顧客獲得の取り組み、客単価を上げる取り組み <p>2 来客増に向けた取り組み 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷品目や量の充実に向けた生産者会議での呼びかけ、店舗へのチラシの掲示、生産者への売上データの送付、呼びかけ <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発(新規及びリピート客の確保) ・SNSを活用した情報発信 ・市内外のイベントへの積極的な出店 ・キッチンレーラーを活用した新規顧客の獲得
農業	4	<p>「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市)</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・◎企業組合ごめんシャモ研究会 ・南国市商工会 ・南国市 <p>イベント販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行うとともに、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ること、ブランド鶏肉としての外販戦略を展開していく。これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモの認知度を向上させ、南国市を訪れてもらう「地産「来」消」の仕組みの確立を図る。</p>	売上高	3,492万円(R4)	5,482万円	5,811万円	<p>1 ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 <p>2 加工品開発及びご当地グルメとしての確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通じたPR活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 ・「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志(加盟店)の増加に向けた活動 ・商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売やふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ・ふるさと納税返礼品による商品のPR、イベント等の紹介 ・生産量・品質の維持管理及び衛生管理の向上、高付加価値化 <p>3 組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方向性の明確化、資金管理による経営強化 ・地域おこし協力隊の配置 ・中央会等による経営強化へのアドバイス、経営計画進捗管理支援 	<p>1 ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産試験場による現地指導(1回)(R6.8末) ・指導に基づいた飼育の実施、飼育体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 <p>2 加工品開発及びご当地グルメとしての確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめん軽トラ市への出店(R6.6、11) ・ふるさとまつり(高知市)への出店(R6.11) ・「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供(通年) <p>3 組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央会による経営計画進捗管理支援 ・定例会における協議(8回)(R6.11末) ・地域おこし協力隊の募集(R6.6～) ・今後の事業の進め方について企業組合と県・市による三者協議を実施(R7.1) 	2,510万円(R6.4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・R6到達目標達成率：91.6% ・対前年同期比：－% 	B	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産データの整理により、受精率、孵化率、出荷率等の見える化につながった。 ・R5年度から家畜保健所の指導を積極的に仰ぎ、正しい生産技術の取得に努めたことで孵化率が向上した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定生産に向けた飼育体制の強化 ・販売計画に基づくシャモの生産管理 ・財務健全化に向けた組織の強化 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家等の指導による増産や安定供給に必要な飼育及び生産管理技術の向上 ・「あんぱん」を契機としたご当地グルメとしてのブランド力向上 ・地域おこし協力隊を導入し、経営体制を強化 	<p>1 ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 <p>2 加工品開発及びご当地グルメとしての確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通じたPR活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 ・「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志(加盟店)の増加に向けた活動 ・商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売やふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ・ふるさと納税返礼品による商品のPR、イベント等の紹介 ・生産量・品質の維持管理及び衛生管理の向上、高付加価値化 <p>3 組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方向性の明確化、資金管理による経営強化 ・中央会等による経営強化へのアドバイス、経営計画進捗管理支援
		飼育羽数	930羽(R4)	1,317羽	1,442羽	<p>1,042羽(R6.4月～11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6到達目標達成率：118.7% ・対前年同期比：94.4% 	S						

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況		R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	
商 工 業	5	高知県産ワインの生産拡大及び ブランド化の推進 (香南市) 【実施主体】 ・◎井上ワイナリー(株) ・香南市 県内各地の遊休農地等でのブドウ栽培を進め、ワインの生産拡大を図るとともに、県内食材とのコラボレーションやPR活動により、高知県産ワインとしてのブランド力を高めることで、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。	商品売上高	7,120万円 (R4)	7,200万円	9,400万円	1 栽培面積の拡大 ・県内市町村や集落活動センターと連携した圃場の拡大、自社圃場の拡大 2 醸造・生産体制の強化 ・新商品ワインの開発 ・設備の増強 3 ブランド力の向上 ・品評会への出展 4 他の事業者との連携 ・グロサリー商品の開発・販売	1 栽培面積の拡大 ・山北地区で令和10年度までに約2.8haの圃場を追加できるよう交渉中 2 醸造・生産体制の強化 ・佐川町の土本観光果樹園のリンゴ果汁で造った醸造酒(シードル)を販売開始(限定300本) ・新たな柑橘系ワイン(小夏や文旦等)の開発 ・収穫量増加によるタンク増設(約6,000リットル) 3 ブランド力の向上 ・ワイン3品が国際コンクールで金賞受賞(フェミニリーズ世界ワインコンクール及びサクラアワード) ・2024年日本ワインコンクールで銀賞受賞(昨年度は銅賞) 4 他の事業者との連携 ・地元食材を取り扱う事業者と連携したグロサリー商品の開発・販売	4,117万円 (R6.4月～10月) ・R6到達目標達成率：98.0% ・対前年同期比：94.3%	B (成果) ・ワイン3品が国際コンクールで金賞受賞によりブランド力の向上に繋がった。 ・山北みかんのスパークリングワインの販売を開始し、品揃えが充実した。 ・高知県産りんご「ふじ」の果汁を100%使用したシードルの販売を開始し、品揃えが充実した。 ・収穫量増加に対応するためタンクを増設し生産能力が拡大した。 (課題) ・原料の確保 ・店舗来客数の減少に伴う商品売上の減少 (今後の方向性) ・ぶどうの栽培面積確保が必要なため、委託栽培だけでなく、自社圃場についても拡大する方針 ・新たな柑橘ワインの開発及びみかんワインの増産	1 栽培面積の拡大 ・県内市町村や集落活動センターと連携した圃場の拡大、自社圃場の拡大 2 醸造・生産体制の強化 ・新商品ワインの開発 ・設備の増強 3 ブランド力の向上 ・品評会への出展 4 他の事業者との連携 ・グロサリー商品等の開発・販売

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商 工 業	6	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市) 【実施主体】 ・◎南国市 ・◎南国市商工会 ・◎(株)海洋堂高知 ・南国市中心市街地振興協議会 「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。	エリア内の売上高	10億9,061万円(R4)	12億8,976万円	13億9,031万円	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行 ・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地振興協議会を開催(R6.4) 【観光博覧会の開催に向けた準備】 ・「やなせライオン」レプリカ、「やなせうさぎ」モニュメント等の新設(やなせたかしロード沿道広場) ・アンパンマンキャラクターの石像やベンチの新設(舟入川公園) ・臨時観光案内所の設置 ・観光コンテンツ紹介動画の制作 等	- (R7.8調査) ・R6到達目標達成率：-% ・対前年同期比：-%	-	(成果) ・各種イベント等の実施により、拠点施設の入込数が目標を上回り、中心市街地への誘客促進につながった。 (課題) ・拠点施設入場者の中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ・チャレンジショップの円滑で効果的な運営 (今後の方向性) ・より効果的な中心市街地の周遊促進策の検討 ・商工会による出店者支援 ・チャレンジショップ運営見直しに係る協議の実施 ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施 ・「あんぱん」の放送という好機を生かし観光協会等とも連携した観光客誘客の取り組みの実施	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行 ・第3期中心市街地振興計画の策定 ・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理 ・まち歩きガイドマップの配布
				新規出店数	5件 (R2~4累計)	2件	8件 (R6~9累計)	2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画、実施 ・(株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ・軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ・新規出店者数増へ向けた、チャレンジショップの運営、チャレンジャー支援 ・地域おこし協力隊による取り組み支援 ・空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金)	2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・「ものべおしごと体験博」の実施(物部川DMO協議会と連携(R6.4)) ・ごめんの軽トラ市、ごめんteteマルシェを同時開催(R6.6) ・チャレンジショップ新規出店(R6.5~)	2件 (R6.4月~11月) ・R6到達目標達成率：100.0% ・対前年同期比：-%	A	2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画、実施 ・(株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ・軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ・地域おこし協力隊による取り組み支援 ・空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金)
				拠点施設の入込数	68,860人 (R4)	70,000人	70,000人	3 拠点施設の運営等 ・フィギュアの生産、販売 ・集客につながるイベントの実施 ・拠点施設と連携した各種イベントの開催 ・来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり ・南国市地域経済活性化計画の進捗管理	3 拠点施設の運営等 ・フィギュアの生産、販売(通年) ・企画展示、ワークショップ等の実施(通年) ・ごめんteteマルシェの開催(R6.6、R6.10、R7.1) ・ごめんの軽トラ市、ごめんteteマルシェを同時開催(R6.6、R7.1) ・南国市地域経済活性化計画の進捗管理 【観光博覧会の開催に向けた準備】 ・後免町ジオラマのリニューアル ・博覧会プレイベント、オープニングイベントの開催 等	48,194人 (R6.4月~11月) ・R6到達目標達成率：103.3% ・対前年同期比：102.1%	A	3 拠点施設の運営等 ・フィギュアの生産、販売 ・集客につながるイベントの実施 ・拠点施設と連携した各種イベントの開催 ・やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催 ・デジタル観光ガイドを活用した周遊企画 ・南国市地域経済活性化計画の進捗管理

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商 工 業	7	香南市中心市街地の振興 (香南市) 【実施主体】 ・〇香南市 ・〇香南市商工会 ・〇地域事業者 香南市の中心市街地において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心市街地を核とした地域の活性化を図る。	空き店舗等を活用した中心市街地活性化計画エリア内の新規開業数	1件 (R2~4累計)	3件	8件 (R6~9累計)	1 空き店舗対策 ・空き店舗対策事業費補助金による支援 ・空き店舗情報や事業承継支援に関する情報発信 ・市、県との連携及び情報共有 ・空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援	1 空き店舗対策 ・相談窓口(香南市・商工会)や市ホームページ等における各創業支援施策の紹介(通年) →相談件数：6回(R6.9時点) ・市内不動産会社と連携した市ホームページへの空き店舗情報の掲載(通年) →掲載中の物件数：8件(R6.11時点) ・事業承継にかかる支援機関との連携および情報発信(通年) →空き店舗対策事業費補助金活用実績 1件(交付決定) ※年度内に開業予定	0件 (R6.4月~11月) ・R6到達目標達成率：0% ・対前年同期比：0%	D	(成果) ・フジグラン野市での体験出店を通じて、市内事業者の認知度向上や活性化につながった。(7事業者) ・市内事業者を巡るスタンプラリーの実施により中心市街地の活性化につながった。 (課題) ・中心市街地活性化計画に係るイベント内容や参加店舗の固定化 (今後の方向性) ・関係機関が連携した空き店舗対策の実施 ・事業経営アドバイザーを活用した中心市街地活性化アクションプランの検討 ・香南市中心市街地活性化計画の改定 (R7.3)	1 空き店舗対策 ・空き店舗対策事業費補助金による支援 ・空き店舗情報や事業承継支援に関する情報発信 ・事業承継支援制度の創設(中山間地域) ・市、県との連携及び情報共有 ・空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援
							2 中心市街地を核とした地域の活性化計画の推進 ・中心市街地活性化アクションプランの推進 ・中心市街地活性化計画推進事業費補助金による支援	2 中心市街地を核とした地域の活性化計画の推進 ・アクションプランに基づいた計画内容の実行推進(回遊の仕組みづくり班、中心エリアの魅力向上班における取り組み内容協議等の実施) ・香南市中心市街地活性化協議会ワーキンググループ開催(11/22、1/16) <回遊の仕組みづくり> ・スタンプラリーの実施(8/28~9/30) ・令和6年度事業概要の決定、中心市街地活性化計画推進事業費補助金の交付決定 ・市内事業者及び関係者による打合せ(1回) ・当選者への景品配付終了(応募数:137件、11/30) <中心エリアの魅力向上> ・フジグラン野市におけるイベント出店(10/13) ・10月開催予定のイベントの前段としてフジグラン野市における体験出店(7事業者)実施(6/18) ・フジグラン野市での「マルシェこうなん」(毎週開催)の実施(R6.7~) ・市内事業者及び関係者による打合せ(3回)	292店 (R6.7月調査) ・R6到達目標達成率：98.0% ・対前年比：98.0%		B	2 中心市街地を核とした地域の活性化計画の推進 ・中心市街地活性化アクションプランの推進 ・中心市街地活性化計画推進事業費補助金(香南市)による支援
商 工 業	8	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興 (香美市) 【実施主体】 ・〇高知県土佐刃物連合協同組合 ・〇フラフ製造業者 ・香美市商工会 ・(一社)香美市観光協会 ・香美市 国指定伝統的工芸品である土佐打刃物及び高知県伝統的特産品であるフラフの後継者育成及び販路拡大を図るため、鍛冶屋創生塾による人材育成とともに、観光事業との連携やイベント開催、ネット販売等に取り組む。	創生塾入塾者数	9名 (R2~5累計)	9名	15名 (R2~9累計)	1 人材育成 ・鍛冶屋創生塾における人材育成 ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保	1 人材育成 ・鍛冶屋創生塾の運営(伝統的工芸品産業支援補助金(国)及び伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業補助金) ・鍛冶屋創生塾4期生の募集(通年) ・鍛冶屋創生塾オープンキャンパスの開催 ・鍛冶屋創生塾運営委員会の開催：3回(年4回)	9名 (R6.12月時点) ・R6到達目標達成率：100.0% ・対前年同期比：100.0%	A		(成果) ・鍛冶屋創生塾1、2期生は卒業後鍛冶職人として就業し、3期生も卒業後県内で就業見込みであり、後継者の確保に繋がった。 <第1期生> 入塾(R元) 3名 卒業(R3) 3名 ※うち新規就業3名 <第2期生> 入塾(R3) 3名 卒業(R5) 3名 ※うち新規就業2名、講師補助1名 <第3期生> 入塾(R5) 3名 卒業(R7) 3名(見込み) <第4期生> 入塾(R7) 3名(見込み)
							2 伝統的工芸品等の普及及び販売促進 ・土佐打刃物・フラフの普及促進 ・土佐打刃物・フラフの新たな販路開拓	2 伝統的工芸品等の普及及び販売促進 ・市内各所へのフラフの掲揚：5箇所(R6.4~5月) ・「フラフのある風景フォトコンテスト」の開催：R6.4-5月(応募作品60点) ・香美市ものづくり会議で伝統的工芸品等の普及促進策を検討実施：本会議(年2回(予定))、土佐山田フラフ分科会(年2回(予定))、土佐打刃物分科会(休会中)	5名 (R6.12月時点) ・R6到達目標達成率：100.0% ・対前年同期比：100.0%		A	(課題) ・継続した入塾者の確保 ・卒業後の就業先の確保 ・伝統工芸品等の認知度向上 (今後の方向性) ・4期生募集に向けた広報(県内工業高校への募集案内、オープンキャンパスの開催等) ・卒業後の就業先の確保に向けた新たな支援策の検討 ・伝統工芸品等の更なるPR機会の検討

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】 項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	【D(Do)】 R6取り組み状況	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】 R7計画
									現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商 工 業	9	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市) 【実施主体】 ・えびす街協同組合 ・香美市商工会 ・香美市 香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。	新規開業数	—	2件	8件 (R6～9累計)	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1)空き店舗調査の実施 ・地域づくり支援員による空き店舗調査の実施 ・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 (2)「ふらっと中町」チャレンジショップの運営 ・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 ・集客力のあるイベント開催によるPR ・SNS等による情報発信 (3)空き店舗を活用した新規開業支援 ・空き店舗等利活用助成金による支援 ・開業時のアドバイスの実施 (4)中心商店街活性化計画の推進 ・香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1)空き店舗調査の実施 ・空き店舗の調査及び開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応(通年) (2)「ふらっと中町」チャレンジショップの運営 ・チャレンジショップを活用した開業支援 →チャレンジャーの出店：2者 ・チャレンジショップ運営委員会の開催(毎月) ・SNS、情報誌等を活用した情報発信(通年) ・ふらっと中町での各種イベントの開催 (3)空き店舗を活用した新規開業支援 ・香美市商工会による開業時のアドバイスの実施 (4)中心商店街活性化計画の推進 ・香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進(通年)	1件 (R6.12月時点) ・R6到達目標達成率：50.0% ・対前年同期比：—%	D	(成果) ・新規開業者により、商店街内の店舗数の維持につながった。 ・ふらっと中町職員による空き店舗調査の実施により地域の活性化につながった。 (課題) ・商店街の空き店舗の活用促進及びチャレンジショップ卒業生の域内への出店を目指した利用可能な空き店舗の確保 ・ふらっと中町、チャレンジショップへの誘客	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1)空き店舗を活用した新規開業支援 ・ふらっと中町職員による空き店舗調査の実施 ・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ・空き店舗等利活用助成金による支援 ・開業時のアドバイスの実施 (2)「ふらっと中町」チャレンジショップの運営 ・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 ・集客力のあるイベント開催によるPR ・SNS等による情報発信 (3)中心商店街活性化計画の推進 ・第2期香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進
		店舗数	118店 (R5)	118店	118店	119店 (R6.6月調査) ・R6到達目標達成率：100.8% ・対前年同期比：100.8%	A	(今後の方向性) ・空き店舗調査や開業支援の継続 ・ふらっと中町での継続的なイベント開催 ・第2期香美市中心商店街活性化計画の策定				
商 工 業	10	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市) 【実施主体】 ・(同)高知カンパニーニブルワリー ・香美市商工会 ・香美市 高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社TAP STANDへの誘客促進を図る。更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。	クラフトビールの売上高	4,207万円 (R4)	7,500万円	9,000万円	1 生産体制の強化 ・生産拡大に向けた機械設備の導入 ・雇用の創出 2 認知度向上・販路拡大 ・認知度向上・販路拡大 ・新商品の開発・販売	1 生産体制の強化 ・機械設備の導入の検討 ・ハローワークを活用した労働力の確保 →雇用創出数21名(R6.12月時点) 2 認知度向上・販路拡大 ・クラウンパレス新飯急高知ピアフェスタへの出店：R6.7月 ・季節限定商品の開発・販売 →2種類(こなっちゃんバーミード、グアパトロピカルヘイジーIPA)	6,412万円 (R6.4月～10月) ・R6到達目標達成率：146.6% ・対前年同期比：144.5%	S	(成果) ・販路拡大、新商品の開発、各種媒体でのPRにより売上高が増加した。 ・生産拡大により雇用創出につながった。 (課題) ・生産拡大に向けての機械設備の導入 ・販路拡大 ・TAP STAND及びTOSACO GARDENへの誘客 (今後の方向性) ・生産体制の強化に向けた自動充填機及びタンクの増設(R7年度) ・商談会等への参加 ・SNS等を活用したTAP STAND及びTOSACO GARDENの情報発信の強化	1 生産体制の強化 ・生産拡大に向けた機械設備の導入及び第2工場の整備(産振補助金(一般事業)活用予定) ・労働力の確保・育成 2 認知度向上・販路拡大 ・商品コンセプトに合致したイベント、商談会等への出展 ・地元イベントへの出店 ・自社イベントの実施 ・新商品の開発 ・SNS等を活用した情報発信

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況				
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (%)	現状分析		
観光	11	物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域) 【実施主体】 ・◎(一社)物部川DMO協議会 ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)ものべみらい ・観光事業者 物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。	主要観光施設入込数(8施設)	73.7万人(R4)	80.7万人	89.5万人	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・物部川広域観光振興中期計画(R7~9)の策定 2 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・県キャンペーンと連動した観光商品の造成・販売 ・セールスの実施やエリア内の情報発信 ・デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定 3 地域連携による周遊促進 ・地域連携企画の実施 ・NHK連続テレビ小説「あんぱん」を生かした地域博覧会の開催	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・物部川広域観光振興中期計画(R7~9)の策定 →令和7年3月開催予定の臨時社員総会での報告に向け検討・作成 2 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・国内外からの旅行ツアーの受入れ →ツアーアテンド回数：41回(R6.12月時点) (インバウンドツアー：3回、国内団体ツアー：28回、国内旅行会社：7回、教育旅行ツアー：2回、ユニバーサルモニターツアー：1回) ・高知工業高等専門学校地域共同演習の受入れ、商品造成：毎週火曜日(5/21~) ・通訳案内士勉強会の講師としてエリア情報を紹介(11/30) ・JR観光列車のおもてなしの実施：毎週金曜日(4~6月、10~12月) ・クルーズ船寄港時地場産品販売・観光案内の実施(4/11、19、27) →売上実績：118,000円 ・旅行商品商談会への参加・個別セールスの実施(関東：4/16・17、7/3、9/11・12、関西：5/9・10、7/3、9/3・4、広島：5/15・16、阪急：5/29、台湾：7/8・9、高知：8/20、福岡：11/15、ツーリズムEXPO：9/26~29) ・観光PR、観光客動態調査の実施：11回(のいち動物公園：1回、ヤ・シィパーク：2回、道の駅南国風良里：3回、斐生の里：2回、高知空港：1回、やなせたかし記念館前：2回) →アンケート回収数：826件(R6.11.24時点) ・県内外での観光PRの実施 →ブース出店回数：20回(長居植物園、JAL関西マルシェ、ごめんなはり線の日、よさこい祭り、関西アンテナショップとさとさ、JAL福岡マルシェ、カンオゴルフ等)(R6.12月時点) ・県のデジタルデータ活用事業による実証事業の実施 →デジタルクーポン付き宿泊プラン予約実績：75件(R6.12.24時点) 3 地域連携による周遊促進 ・「ものべおしごと体験博」の開催 →開催に向けたエリア内企業との連携：7社(海洋堂SFN、松田医薬品、土佐くろしお鉄道、旭食品、のいち動物公園、よどやドラッグ、タケナカタンボール) ・南国I.C.わくわくゾーンスタンプラリーの実施(4/20~11/30) ・連続テレビ小説「あんぱん」の放送を契機に開催する物部川エリアでの観光博覧会「ものべすと」に向けて、官民一体の実行委員会を立ち上げ：4/24 →実行委員会3回、幹事会6回、受入部会1回開催(R6.12月時点) ・博覧会ロゴ、ポスター、パンフレット等を制作し、観光博覧会の事前PRを実施 (物部川DMO協議会の活動経費について支援：高知県広域観光推進事業費補助金)	78.9万人(R6.1月~12月)	・R6到達目標達成率：97.8% ・対前年比：102.2%	B	(成果) ・主要観光施設入込数は、施設の休館により目標達成とならなかったものの、DMOによる県内外での観光PRやセールス活動の強化と連続テレビ小説「あんぱん」の話題性の相乗効果により、対前年同期比102.2%で順調に推移しており、国内旅行ツアー誘致数も伸びた。(ツアー誘致数：R5.12月時点 3回→R6.12月時点 35回) ・「ものべおしごと体験博」の実施等子育てファミリー向けの観光施策を中心に、ユニバーサルツーリズムを推進し、バリアフリー観光に関して、R6年度四国運輸局の優良事業者表彰を受賞した。 (課題) ・観光博覧会の開幕に向けた受入れ・広報事業の準備の加速化とエリア内の機運醸成の取り組み強化 ・観光博覧会に向けてエリア内関係者(市、観光協会、商工会等)との連携強化 ・観光博覧会を通じた「物部川ブランド」の確立 (今後の方向性) ・観光博覧会に向けて、エリア内関係者との意見交換会や部会等での議論を踏まえ、各事業を関係者と連携し滞りなく実施 ・サポーター制度の創設や食の磨き上げ等を行い、観光客の受入れに向けた機運を醸成 ・周遊促進の効果を高めるため、県と隣接する高知市、東部エリアと連携したPRを実施 ・アフター「あんぱん」を見据えた中期計画(R7~R9)の策定	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・エリア内関係者と一体となった博覧会事業の実施 ・物部川広域観光振興中期計画(R7~9)の実行 2 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・県キャンペーンと連動した観光商品の造成・販売 ・連続テレビ小説「あんぱん」や、やなせたかしさんを前面に出したセールスの実施やエリア内の情報発信による「物部川ブランド」の確立 ・「ユニバーサル観光地」としての認知度を向上させ、エリアへの誘客を推進 ・3市の観光と歴史文化を伝える教育旅行のセールス強化 ・地域観光人材の育成 ・デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定 3 地域連携による周遊促進 ・観光博覧会「ものべすと」の開催によるエリア内への誘客促進や周遊企画の実施 ・「ものべおしごと体験博」等の地域連携企画の実施

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		【P(Plan)】		
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況		R7計画	
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)		現状分析
観光	12	<p>南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市)</p> <p>【実施主体】 ・◎(一社)南国市観光協会 ・南国市 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</p> <p>地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪等市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進に繋げる。</p>	主要観光施設入込数 (4施設) 1月～12月	48.4万人 (R4)	55.0万人	55.0万人	<p>1 観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 観光パンフレットの発刊、SNS等での情報提供、旅行雑誌等への売込みの実施 <p>2 観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員増に向けた新規会員の掘り起こし SNS・パンフレット等による会員の店舗やイベント等のPRの実施 	<p>1 観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 ガイド養成講座(全10回)を実施 R5年度作成パンフレットの増刷(30,000部)、SNS等での情報提供、旅行雑誌等への売込みの実施 「周遊促進・滞在延長支援事業費補助金」を活用した観光PR動画の作成 <p>2 観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 勧誘チラシの送付等による新規会員の掘り起こし ：会員数122名(R6.7未現在) SNSによる会員店舗のPR <p>【観光博覧会の開催に向けた準備】(1、2 共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点施設の整備 「やなせライオン」レプリカ、「やなせうさぎ」モニュメント等の新設(やなせたかしロード沿道広場)、アンパンマンキャラクターの石像やベンチの新設(舟入川公園)、後免町ジオラマのリニューアル(海洋堂スペースファクトリー)、臨時観光案内所の設置等 受入対策 観光ガイドの育成、混雑対策(案内所スタッフによる案内・誘導)、アンパンマンキャラクターの石像洗い等 主な企画展、イベント やなせさん関連の特別企画展(海洋堂スペースファクトリー)、博覧会プレイイベント、オープニングイベント、岡豊山さくらまつり等 周遊促進 デジタル観光ガイドを活用した周遊企画、まち歩きMAPの制作・配布、観光コンテンツ紹介動画の制作等 	<p>51.8万人 (R6.1月～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6到達目標達成率：94.2% ・対前年比：98.4% 	B	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド養成講座の実施により新規ガイドの育成につながった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 南国市観光のPR不足 観光博覧会開催に向けた受入体制の整備 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS・パンフレット等によるイベント等のPRの実施 商工会と連携したまち歩きマップの作成 「あんぱん」に合わせた観光キャンペーンのため、臨時の観光案内所を設置 観光博覧会の開催 	<p>1 観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ごめん町定時ガイドの実施 <p>2 観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨時観光案内所の運営体制の確保 (実施事業：観光案内・ガイド受付・特産品販売・キッチンカー等出店運営・レンタサイクル) 勧誘チラシの送付等による新規会員の掘り起こし SNSによる会員店舗のPR <p>3 観光博覧会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 「やなせたかしが育ったまち南国市」のPR やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催 臨時観光案内所の運営 デジタル観光ガイドシステム(音声ガイドアプリ)の運用 デジタル観光ガイドシステムを活用した周遊企画 まち歩きマップの配布

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		【P(Plan)】		
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況		R7計画	
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)		現状分析
観光	13	南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市) 【実施主体】 ・◎(株)西島園芸団地 ・南国市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)物部川DMO協議会 ・南国市観光施設連絡会 南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。	観光客 入込数 1月～12月	120,023人 (R4)	148,000人	156,000人	1 観光客誘致促進 ・南国市、南国市観光協会、物部川DMO協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み ・WEB等を活用した情報発信、旅行代理店へのセールス等いちご狩りやイベントの開催 ・魅力ある店舗づくり ・レイアウトや内装の随時見直し 2 売上増に向けた取り組み ・観光客増による店舗販売の推進 ・フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売 ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み ・生産品種の随時見直し ・栽培ハウス加温設備等の計画更新	1 観光客誘致促進 ・南国市、南国市観光協会、物部川DMO協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み ・WEB等を活用した情報発信、旅行代理店へのセールス等(通年) ・魅力ある店舗づくり ・旬の果物や商品や顧客の反応に合わせたレイアウトや内装の見直し(随時) 2 売上増に向けた取り組み ・観光客増による店舗販売の推進 ・フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売(通年) ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み ・網目なし幻のメロン「しらゆき」を栽培 ・イチゴ狩りに向けた生産品種・面積の検討 ・あんぱんの放送に合わせた新商品を開発(R7.1) ・既存ハウスの修繕計画検討(6月) ・関係者を交えた月例会の開催(5回)	145,141人 (R6.1月～12月) ・R6到達目標達成率：98.1% ・対前年比：98.1%	B	(成果) ・地産外商公社を通じて東京の高級ホテルへのメロン等の販路開拓により、売上高が増加した。 ・「あんぱん」の放送に合わせた新商品、メロンを使った帽子パンが開発できた。 (課題) ・老朽化した設備等の計画的な更新 ・従業員の年齢層の偏りの改善 ・更なる誘客 ・8月の南海トラフ地震臨時情報以降の集客の落ち込み ・お歳暮需要の低下 (今後の方向性) ・増益による設備更新費用の確保 ・栽培部、観光部の協議による需要に応じたメロン栽培 ・若者の定期的な雇用の実施 ・「あんぱん」の放送というチャンスを逃さず、周辺施設と連携した観光客周遊策を検討	1 観光客誘致促進 ・南国市、南国市観光協会、物部川DMO協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み ・WEB等を活用した情報発信、旅行代理店へのセールス等いちご狩りやイベントの開催 ・魅力ある店舗づくり ・レイアウトや内装の随時見直し 2 売上増に向けた取り組み ・観光客増による店舗販売の推進 ・フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し ・地域博覧会を活用した集客の実施 ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売 ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み ・生産品種の随時見直し ・栽培ハウス加温設備等の計画更新

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	14	<p>香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進 (香南市)</p> <p>【実施主体】 ・◎(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・地域の体験メニュー等提供団体</p> <p>香南市の自然や文化、歴史等の地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。</p>	<p>主要観光施設入込数 (10施設)</p> <p>1月～12月</p>	102.3万人 (R4)	106.1万人	111.8万人	<p>1 旅行商品の造成と販売 ・観光施設の連絡強化のための香南市観光施設連絡会の開催</p> <p>2 スポーツ・体験観光の推進 ・トレイルランニングレースの開催 ・スポーツイベント等の開催支援 ・体験観光メニュー(ミカン狩り、歌舞伎役者体験等)の造成、磨き上げ ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの実施及び支援</p> <p>3 地域の観光情報の発信 ・HP、SNS等を活用した情報発信</p>	<p>1 旅行商品の造成と販売 ・香南市観光施設連絡会(第1回7/10、第2回9/6)</p> <p>2 スポーツ・体験観光の推進 ・塩の道うおーくの開催(4/20) →参加者：124名 ・トレイルランニングレースの開催(10/6) →参加者：215名 ・体験観光メニューの造成、磨き上げ ：弁天座歌舞伎役者体験(8/5) (県地域観光商品造成等委託業務) ・レンタサイクル事業の実施(R6.4～10月) →レンタル：890台 ・各種サイクリングイベントの実施及び支援 (R7.3月に3市周遊ライドを計画) ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン(R6.7.1～R6.12.31) ・健康サイクリング(9/8、12/1) →参加者：13名</p> <p>3 地域の観光情報の発信 ・HP、SNS等を活用した情報発信(随時)</p> <p>【観光博覧会の開催に向けた準備】(1～3共通) ・拠点施設の整備 絵金蔵館内動画コンテンツリニューアル、あかおか駅展示キャラクターリニューアル 等 ・受入対策 ガイド養成、混雑対策(空港とのいち駅を結ぶ乗合タクシー)等 ・主な企画展、イベント 絵金蔵開館20周年企画展、博覧会プレイベント、オープニングイベント、かがみ花フェスタ、どろめ祭り 等 ・周遊促進 あかおか町歩きガイド、ごな線キャラを探せ！イベント、3市周遊シャトルバス運行、周遊タクシープラン造成 等</p>	<p>81.2万人 (R6.1月～10月)</p> <p>・R6到達目標達成率：91.8% ・対前年同期比：95.9%</p>	B	<p>(成果) ・塩の道うおーく、トレイルランニング等の開催により、地域の盛り上がりにつながった。</p> <p>(課題) ・レンタサイクルの利用数低下 ・観光施設や関連団体の連携による観光博覧会に向けた機運醸成</p> <p>(今後の方向性) ・レンタサイクルの受入体制の見直し ・健康サイクリング等の開催内容見直し ・体験観光メニューの造成(弁天座歌舞伎役者体験等) ・HP、SNS等を活用した情報発信の検討 ・観光博覧会の開催</p>	<p>1 旅行商品の造成と販売 ・観光施設の連絡強化のための香南市観光施設連絡会の開催</p> <p>2 スポーツ・体験観光の推進 ・トレイルランニングレースの開催 ・スポーツイベント等の開催支援 ・体験観光メニュー(ミカン狩り、歌舞伎役者体験等)の造成、磨き上げ ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの実施及び支援</p> <p>3 地域の観光情報の発信 ・HP、SNS等を活用した情報発信</p> <p>4 観光博覧会の開催 ・混雑対策(空港とのいち駅を結ぶ乗合タクシー) ・どろめ祭りの開催 ・観光博覧会推進事業費補助金(市)による支援 ・3市周遊ライドの開催 ・三宝山エリア(4施設)での取り組み強化 ・あかおか町歩きガイド ・3市周遊シャトルバス運行 ・周遊タクシープラン 等</p>

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	15	ヤ・シバークを核とする地域の活性化の推進 (香南市) 【実施主体】 ・〇(株)ヤ・シバ ・香南市 地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めるため、ヤ・シバークを核とした仕組みづくりに官民一体となって取り組み、地域の活性化を図る。	ヤ・シバークの入込数	29.5万人 (R4)	31.0万人	33.2万人	1 ヤ・シバークを核とした地域の活性化の取り組み ・インクルーシブ化の推進 ・多様な観光客を受入れるため、案内板の設置等の環境整備を実施 ・集客力の向上 ・イベントの開催、HP・SNS等を利用した情報発信を実施	1 ヤ・シバークを核とした地域の活性化の取り組み ・インクルーシブ化の推進 ・県港湾・海岸課による案内板設置等工事 ・集客力の向上 ・土佐よさこいツーデイウォーク(7/5)、マリンフェスティバル(7/14)の開催、香南市による子どもの遊び場確保事業の実施(小学生以下の子どもがいる世帯を対象にヤ・シバーク無料駐車券を100名にプレゼント)	23.3万人 (R6.1月～10月)	B	(成果) ・各種イベント(土佐よさこいツーデイウォーク、マリンフェスティバル)の開催により、地域の盛り上がりにつながった。 ・カフェ「cafePleasure」がオープンし、道の駅の集客に繋がった。 (課題) ・来客数が伸び悩んでおり、新たにカフェはオープンしたが、テナント全体の売上高は前年度と同水準 ・猛暑や南海トラフ臨時情報、台風の影響により、海水浴客数が減少しており、入込数や売上高に影響 ・地震の影響による海岸部における今後のイベント開催	1 ヤ・シバークを核とした地域の活性化の取り組み ・インクルーシブ化の推進 ・多様な観光客を受入れるため、案内板の設置等の環境整備を実施 ・集客力の向上 ・イベントの開催、HP・SNS等を利用した情報発信を実施 ・観光博覧会に係る情報発信の強化
							「道の駅やす」テナントの売上高	3億3,513万円(R4)	3億4,000万円			
観光	16	三宝山エリアにおける観光拠点化の推進 (香南市) 【実施主体】 ・(有)北村興産 香南市のシンボルである三宝山山頂周辺の整備とアクトランドを中心とした施設整備を進めることで、様々な楽しみ方ができる観光エリアを作り出すとともに、近隣の観光施設等と連携し、県内外から観光客を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。	状況を踏まえて設定	—	—	—	1 施設整備 <<(有)北村興産>> ・事業計画の検討・実施 三宝山開発、アクトランド及び周辺整備 ・「ACT FACTORY」 未来のものづくりに携わる人のきっかけづくりの場としてオープン <香南市、県> ・整備にあたって上下水道、県道等の協議・調整 <県(地域本部)> ・関係機関との橋渡し、支援制度の情報提供	1 施設整備 <<(有)北村興産>> ・タウンエリアに体験工房「ACT FACTORY」が完成(R6.6) <香南市、県> ・整備にあたって県道等の協議・調整(通年) <県(地域本部)> ・北村興産担当者との面談(随時) ・北村興産来庁(産振・土木・商工・観光)の調整・随行(5月)	—	—	(成果) ・アクトランドに体験工房「ACT FACTORY」が完成し、エリア内の集客力が向上した。 ・民間事業者による整備計画の検討が進んだ。 (課題) ・事業計画が検討中であり、詳細な整備計画が未定 (今後の方向性) ・計画策定に必要な関係者との協議について支援を継続	1 施設整備 <<(有)北村興産>> ・事業計画の検討・実施 三宝山開発、アクトランド及び周辺整備 <香南市、県> ・整備にあたって上下水道、県道等の協議・調整 <県(地域本部)> ・関係機関との橋渡し、支援制度の情報提供

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	17	香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市) 【実施主体】 ・〇(一社)香美市観光協会 ・香美市 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設 ・体験型観光メニュー等の提供団体 香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。	主要観光施設入込数 (3施設) 1月～12月	22.0万人 (R4)	23.5万人	28.8万人	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成 ・受入体制や窓口機能の強化 2 観光協会の取り組みの推進 ・観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信 3 香北エリアを中心とした観光活性化 ・周辺施設や地域との連携体制の構築	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・地域おこし協力隊の雇用：1名(観光協会事務所駐在) ・観光ガイドの育成 →養成講座の研修会の開催(全7回)、ガイドマニュアルの整備 2 観光協会の取り組みの推進 ・観光協会のHPやSNS、広報誌を活用した情報発信、特産品の販売 ・「土佐塩の道30kmうおーく」の実施(4/20) →参加者：124人 3 香北エリアを中心とした観光活性化 ・アンパンマンミュージアム周辺会議の開催 ・星空塾の実施(7/25) →参加者：32人 【観光博覧会の開催に向けた準備】(1～3共通) ・拠点施設の整備 アンパンマンミュージアム、詩とメルヘン絵本、土佐山田駅観光案内所の改修等 ・受入対策 観光ガイドの育成、混雑対策(臨時駐車場の設置等)等 ・主な企画展、イベント アンパンマンミュージアムでの特別展、市立美術館での企画展、博覧会プレイベント、オープニングイベント、やなせたかしゆかりの地ガイド等 ・周遊促進 地域通貨「kamika」活用周遊ラリー、ゆかりの地を巡るガイドツアー、3市周遊シャトルバス運行、周遊タクシープラン造成等	21.3万人 (R6.1月～9月) ・R6到達目標達成率：120.9% ・対前年同期比：108.1%	S	(成果) ・SNS等の情報発信、各種イベントの実施により、主要観光施設入込数が伸びた。 ・地域おこし協力隊の雇用により、観光協会の体制強化に繋がった。 ・観光ガイド養成講座の開催により新規ガイドの育成に繋がった。 (課題) ・体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 ・香美市観光協会と物部川IDMO協議会が連携した新規イベントやツアーの定期的な開催、効果的なPRの実施 ・短期間で観光博覧会の準備を進めるための人員不足 ・観光施設や関連団体の連携による観光博覧会に向けた機運醸成 (今後の方向性) ・やなせたかし先生顕彰事業推進協議会、アンパンマンミュージアム周辺施設連絡協議会の開催 ・観光博覧会の開催	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成 ・受入体制や窓口機能の強化 2 観光協会の取り組みの推進 ・観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信 3 香北エリアを中心とした観光活性化 ・周辺施設や地域との連携体制の構築 4 観光博覧会の関連 ・やなせたかしゆかりの地での観光ガイドの実施 ・混雑緩和策の実施 ・臨時観光案内所の運営 ・やなせたかし関連の企画展、イベントの実施、情報発信 ・周遊キャンペーンの実施
観光	18	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市) 【実施主体】 ・〇(公財)龍河洞保存会 ・(株)龍河洞みらい ・龍河洞エリア活性化協議会 ・香美市 日本三大鍾乳洞の一つに数えられ、高知県を代表する観光資源である龍河洞を中心として、国内外の観光客を誘致し、観光振興を図ることによって地域を活性化させる。	観光客入込数 1月～12月	13.0万人 (R5)	13.5万人	16.5万人	1 龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討 ・龍河洞エリア活性化基本計画の推進 ・龍河洞エリア全体の振興策の検討 2 広報、PR活動 ・SNS、テレビ、情報誌等を活用した情報発信 3 集客イベントの開催 ・イベントの開催 ・人材の確保・育成	1 龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討 ・基本計画に基づくサイン整備(R5～)(香美市観光拠点等施設等整備事業費補助金) 2 広報、PR活動 通年：JR高知駅サイネージ、ひろめ市場での広告の設置、情報誌等への掲載等 夏期限定：高知空港サイネージ、SNS広告、テレビCM、よさこい会場でのPR等 3 集客イベントの開催 ・龍河洞まつりの開催：8月 ・龍河洞のクリスマス：12月 ・龍河洞のお正月：1月	13.8万人 (R6.1月～12月) ・R6到達目標達成率：102.2% ・対前年比：106.2%	A	(成果) ・クルーズ船の継続的な就航や集客イベントの開催等により、観光客入込数が伸びた。 (課題) ・老朽化施設や閉鎖施設の増加 ・運営に係る人材不足 (今後の方向性) ・龍河洞エリア活性化基本計画の総括 ・老朽化施設や閉鎖施設の活用等、龍河洞エリア全体の振興策の検討 ・運営に係る人材の確保と育成方法の検討	1 龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討 ・龍河洞エリア活性化基本計画の総括 ・龍河洞エリア全体の振興策の検討 ・老朽化施設等の活用方法の検討 2 広報、PR活動 ・SNS、テレビ、情報誌等を活用した情報発信 3 集客イベントの開催 ・観光博覧会に係るイベント等の開催

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	19	べふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興 (香美市) 【実施主体】 ・◎香美市 ・(一社)香美市観光協会 ・観光事業者 美しい自然に恵まれた奥物部のべふ峡温泉と周辺の観光資源を活用し、物部エリアの観光振興を図る。	※今後の検討状況を踏まえて設定	-	-	-	1 べふ峡温泉の経営改善 ・新たな指定管理者の選定 ・温泉施設等の改修 2 べふ峡を中心とした観光振興 ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施	1 べふ峡温泉の経営改善 ・県観光拠点等需要調査事業の活用等による新たな指定管理者の選定に向けた準備 2 べふ峡を中心とした観光振興 ・「奥ものべ青空市」の開催：5月、12月 ・「土佐塩の道30kmうおーく」の開催 →参加者：124人	-	-	(成果) ・物部町内でイベント等を開催したことにより、地域の盛り上がりにつながった。 (課題) ・べふ峡温泉の経営改善 ・物部エリアの観光資源の活用 (今後の方向性) ・べふ峡温泉の新たな指定管理者選定に向けた個性的なコンセプトと公募条件の設定 ・物部町内での継続的なイベント等の開催	1 べふ峡温泉の経営改善 ・新たな指定管理者の選定 ・温泉施設等の改修 2 べふ峡を中心とした観光振興 ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施